

気象変動を想定した基本技術の励行で品質・収量確保！
 ～ 最重点5項目の確実な実践で1等米90%！ ～

1. 令和5年度エコ・5-5運動の重点技術対策
 太字の5項目は最重点
 ____：新規・強化取組

重点技術対策	具体的な取り組み
高温に耐えられる「土づくり・元気な根づくり」	①作土深は15cmを確保しましょう（スタブルカルチ・”回り耕ち”等） ②堆肥・完熟発酵ケイフン（イセ有機）・ケイ酸質資材による土づくりを推進 土壌分析の拡大、「総合改善展示ほ」継続設置、散布体制づくり、市等の支援事業の活用 ③稲わら秋すき込みと、もみ殻をほ場に還元しましょう
健苗育成と「良質茎の早期確保で安定収量を確保」！	①健苗育成と移植前追肥および深植えを是正し、活着・初期生育を促進しましょう ②完熟発酵ケイフン等による基肥窒素量の補填（砂質土壌等低地力ほ場）と基肥量の再点検（粘土質土壌等の高地力ほ場）を行いましょ ③5月10日以降田植えとし、8月5日以降の出穂を目指しましょう（4月20日以降播種）。過晩植は是正しましょう（5月末迄） ④水の更新や夜間落水により、ワキ防止と根の健全化を図りましょ
適期中干しによる生育調整で「倒伏させない稲づくり」	①田植え後1か月を目途に中干し・溝切りを実施しましょう ②本格的な梅雨入り前に地耐力を確保、過剰籾数を抑制しましょう コシヒカリ；地力・排水良否・生育・倒伏懸念状況に応じて2日程度早めに中干しを開始しましょう 夏季高温時の緊急灌水や秋季長雨排水対策、地耐力確保のために中干し用溝の額縁点検を行いましょ ③“小ヒビ”中干しを基本とし、軟弱圃場では強め中干しでコンバイン収穫の地固めをしましょ
的確な生育診断と倒伏させない穂肥で「高温に強い稲づくり」	①葉色による穂肥診断とドローン活用で、ほ場生育の均一化を目指しましょ ②高温に耐えられる後期栄養の確保で背白粒等の白未熟粒の発生を防ぎましょ →1回目穂肥は葉色・草丈で生育診断、2回目は確実に、3回目は必要に応じ施用 →コシヒカリは地力・生育に応じた倒伏させない穂肥と出穂3日前迄の後期栄養を補給しましょ ③品質と良食味を兼ね備えた適正玄米タンパク質含量（コシヒカリ:5.5～6.0%）
高温気象下における「こしいぶきの高品質安定生産」	①完熟発酵ケイフン等による基肥窒素量の補填と生育の大型化 ②健苗育成と適正栽植株数（60株以上/坪）、深植えを是正し良質茎・穂数を確保しましょ ③生育量確保と除草剤処理層維持のため6月10日を目途に中干しを開始しましょ ④積極的穂肥による後期栄養確保上限補給で品質・収量を両立しましょ
こまめな水管理で「粒張りのよいおいしい米づくり」	①飽水管理又は間断かん水を徹底し、根の活力、葉色及び地耐力を確保しましょ ②台風・フェーン時は事前湛水し、水温上昇を抑えるこまめな水管理を行いましょ ③最終かん水日は出穂後25日以降とし早期落水をしないようにしましょ
少ない農薬使用で効果的な雑草・病害虫防除	①初中期一発剤・中後期剤により水田内雑草を効果的に防除しましょ ②いもち病及び紋枯病は予防防除が基本です（フジワンモンカット粒剤、フジワン剤）
適期収穫と丁寧な選別で「全量」1等米“へ”	①収穫適期情報+②ほ場の籾黄化程度85～90%で収穫適期判断+③高温・フェーン時の過乾燥防止により、胴割粒の発生を防止しましょ（適期収穫・適正乾燥） ②選別網目1.9mmを使用して乳白粒等の未熟粒の混入を防ぎましょ ③収穫適期内に計画的に刈取りを行うために、カントリーエレベーター等の共同乾燥施設を活用しましょ

2. 育苗作業手順

(1) コシヒカリの作業計画

作業目安：浸種10日間、催芽2日間、育苗20日間、田植え5月10日以降

作業内容	作業期間
浸 種	4月 8日（土）開始～4月17日（月）終了
催 芽	4月18日（火）開始～4月19日（水）終了
播 種	4月20日（木）
育 苗	4月20日（木）～5月9日（火）
田植え	5月10日（水）～

3. 浸 種

(1) 浸種場所 … 浸種水槽に直射日光が当たらないよう屋内等で浸種してください。

(2) 水 量 … 水道水などの清水で、水量は種子籾容量の2倍程度にします。

※ 種子籾 1kg に対し、水は約 3.5ℓになります。 ↓■計算してみましょう。

種子籾	1 kg	4 kg	20 kg	kg
水 量	3.5 ℓ	14 ℓ	70 ℓ	ℓ

(3) 水 温 … 令和5年は種用の種子籾は水温 10℃～15℃、積算水温 100℃を目安として下さい。

※注意※① 浸種初期の低水温（10℃未満）は、発芽揃いが悪くなります。

② エコ・5-5 の場合、他の薬剤消毒籾と一緒にしないでください。

(4) 水の交換 … 浸種初日から1日おきに交換してください

※水槽の容量が小さく、種子籾容量の2倍程度の水量確保が難しい場合は、水の交換を毎日行って下さい。

※モミガードC等での薬剤消毒済み種子籾（エコ・5-5 栽培でない）は、消毒効果を高めるため、浸種開始から4日間程度は水を入れ替えないで下さい。

(5) 水 切 り … 浸種期間中に、2回以上行なってください。

必ず、別の台（めざら等）に移して2時間程度水切りして下さい。

4. 催 芽

(1) 催芽温度 … 30℃（こまめに水温を確認しましょう）

(2) タフブロック剤の処理 … 褐条病・ばか苗病等の予防

※注意：種子籾は温湯消毒済みであっても、褐条病やばか苗病等の発生を防ぐために、エコ・5-5 栽培の場合には、必ずタフブロックによる消毒を行ってください。

タフブロック処理した種子籾は、消毒効果を維持するため、水に浸けたり、洗ったりしないで下さい。

①使用方法

農薬名	希釈倍率	使用時期	使用方法
タフブロック	200倍	催芽時	24時間種子浸漬

②タフブロック希釈液の作り方 ↓■計算してみましょう。

	種子籾 4kg 当り	種子籾 20kg 当り	③種子籾 kg 当り
薬 剤	40 g	200 g	④×10= g
水 量	8 ℓ	40 ℓ	④×2= ℓ

裏面もご覧ください。

催芽の状態を必ず確認しましょう！

(3) 催芽終了

- ①催芽日数は1～2日を目安に、籾の発芽状態は鳩胸程度とし、
発芽率が80%以上になったら終了し、陰干しします。
- ②種子籾の休眠に限らず、必ず催芽状態を確認してください。
- ③「こがねもち」「わたぼうし」「越淡麗」は発芽しやすいので、芽・根が伸び過ぎないように注意しましょう。



※催芽種子の冷水中での浸漬保管は厳禁です。(酸素欠乏で、根の発育が悪くなります！)

5. 育苗ハウスの準備

積雪の多い地区では、ハウス用地は早めに除雪して育苗ハウスを建て、ハウス内の地温上昇を図って下さい。

育苗ハウス周囲に小排水溝を掘って排水を良くし、育苗中のハウス内の滞水を防いで下さい。(ハウス内の排水が悪いと“ムレ苗”の原因になります。)

6. 消雪後の本田準備 (田面水の排水)

根域の環境改善の為、枕地などで滞水している圃場では、可能な限り小溝を切って表面排水に努め、田面の乾燥を早めてください。



【参考】H29 年度宮内地域品質向上プロジェクト「砂利採取後排水不良ほ場の排水対策」
実証圃の本田準備排水状況 (H29 JA 越後ながおか、六日市)

7. エコ・5-5 運動遵守事項

- (1) 『令和5年度エコ・5-5 運動「肥料・農薬使用基準」(栃尾・山古志地区)』を必ず遵守して下さい。基準を満たせない場合は「エコ・5-5 米」として販売が出来ないため、慣行栽培米としての扱いになりますので注意願います。
- (2) JA 育苗センターで播種した苗は全て「箱処理剤施用済み」ですので注意して下さい。
- (3) 作付け前(前年収穫後から)の圃場内に、除草剂等農薬は一切使用できません。
- (4) エコ・5-5 コシヒカリは選別網目1.9mmが要件となっています。
- (5) 「エコ・5-5 圃場看板」を、必ず設置してください。
3月末頃に看板を配布します。4月20日までに設置をお願いします。

お問い合わせ先 ながおか営農センター ☎0120-915882 とちお営農センター ☎0120-915885

令和5年度エコ・5-5 運動「肥料・農薬 使用基準」【栃尾・山古志地区】

農薬は、各剤1つの剤型のみ使用できます。

●=使用可能(重点品目) ○=使用可能 ×=使用不可 ____=新規

		農薬・肥料名	コシヒカリ	その他
育苗箱の消毒		イチバン	○	○
種子消毒（催芽時）		タフブロック	●	●
水田初期病害虫防除		Dr.オリゼプリンススピノ粒剤	●	●
水田 除草剤	初期剤	ソルネット 1 キロ粒剤または エリジャン（乳剤・ジャンボ）	○	×
	初中期一発剤	カウシルエナジ-（1 キロ粒剤・ジャンボ・フロアブル）	●	●
	中後期剤	クリンチャー（1 キロ粒剤・EW・ジャンボ）	○	×
		クリンチャーバス ME 液剤	※1	×
		バサグラン（粒剤・液剤）	○	○
害虫防除（共同防除）		スタークル（液剤 10・粒剤・豆つぶ）	●	●
いもち病防除		フジワン （粒剤・1 キロ粒剤・パック・乳剤・水和剤）	×	×
		フジワンモンカット粒剤	×	×
紋枯病防除		モンカット粒剤・フロアブル	×	×
紋枯病防除		バリダシン（液剤 5・粉剤 DL・エアー）	○	○
いもち病防除		ブラシン（フロアブル・粉剤 DL）	×	○
		カスミン液剤	○	○
稲こうじ・墨黒穂病防除		ドイツボルドーA または Z ボルドー粉剤 DL	○	○

※1「クリンチャーバス ME 液剤」使用の場合は、クリンチャー及びバサグランの使用は
できませんのでご注意下さい。

※ 農薬の使用にあたっては登録内容を遵守してください。

育 苗	「稚苗苗代配合」	○	○
	「ホーネンス培土 1 号」、「ホーネンス培土 1 号 Si」、「くみあい液肥 2 号」、「べんとう肥」	●	●
土づくり	完熟発酵ケイフン(イセ有機)、牛ふん、豚ふん、みつハワ- ソイルミスター(ニューミスター)、ようりんケイカル、マルチサポート Fe、農力アップ等	●	●
基 肥	「けい酸入りエコ・5-5 専用元肥」または 「フレーバーペースト 734」	●	●
	味好 2 号、フジミペレット 731、みらい有機 831	○	○
全量基肥 肥 料	「越後の輝き有機 50 スーパー元肥」(早生用)、 「越後の輝き有機 50 スーパー元肥ロング」(コシヒカリ用)	●	●
中間追肥	ウォーターシカ、マルチサポート Fe、スパーシカ、けい酸加里プレミア 34 塩化加里、ソイルミスター(ニューミスター)、ファイトアップ 等	○	○
穂 肥	「けい酸入りエコ・5-5 専用穂肥」	●	●
	味好 2 号、フジミペレット 731、フェザー-MAX、みらい有機 831	○	○